

環境創造センターについて

福島県



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

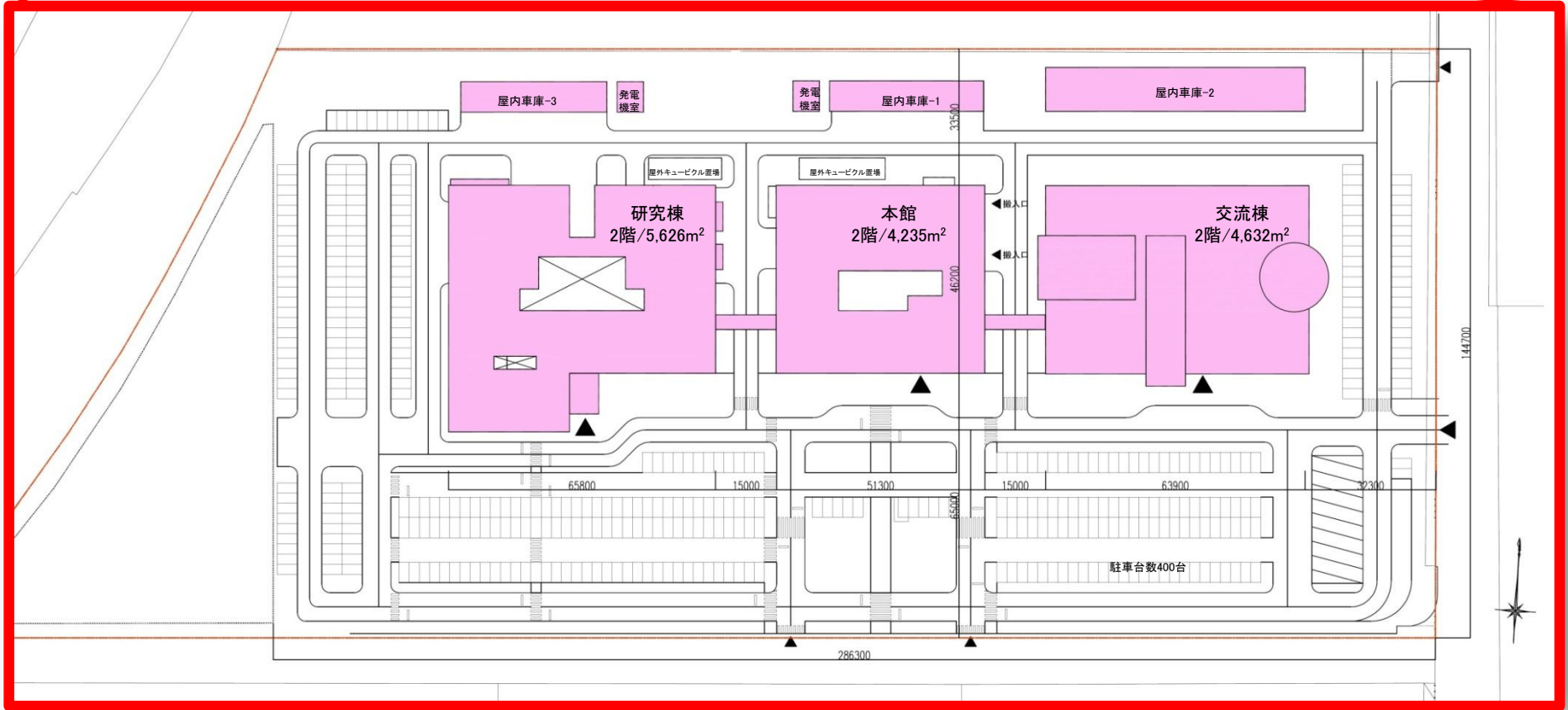
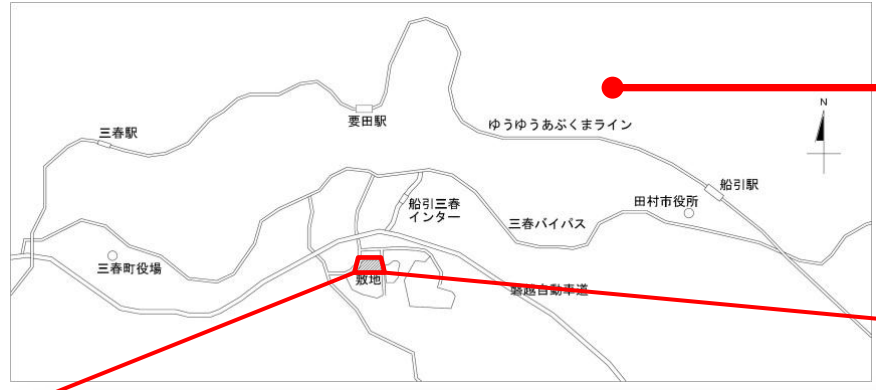
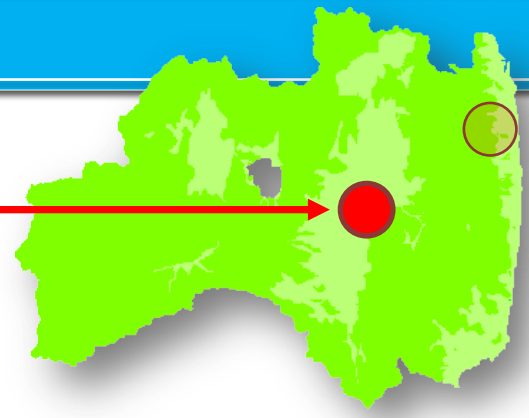
● 環境創造センター

環境創造センターは、環境の回復・創造に取り組むための調査研究及び情報発信、教育等を行う総合的な拠点施設として、福島県が設置するもの。

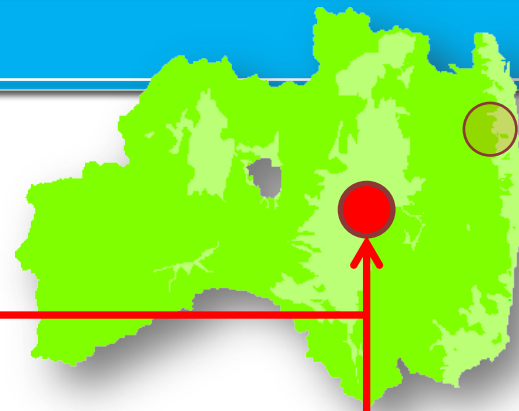


- 平成24年10月 環境創造戦略拠点基本理念策定
環境創造センター基本構想策定
- 平成26年 3月 三春町施設本館及び南相馬市施設着工
- 平成26年10月 // 研究棟及び交流棟着工
- 平成27年 2月 環境創造センター中長期取組方針策定
- 平成27年 4月 日本原子力研究開発機構・国立環境研究所との連携協力に関する基本協定締結
- 平成27年10月 環境創造センター本館及び環境放射線センター業務開始

施設概要



施設概要



- 日本原子力研究開発機構(JAEA)及び国立環境研究所(NIES)が入居
- JAEAは、主に放射性物質による環境の汚染を除去し、環境を回復させるための調査研究を実施
- NIESは、主に放射性物質の動態解明や災害廃棄物についての調査研究を実施



研究棟

- 福島県が入居
- 1階は環境放射能のモニタリングや調査研究を行うエリア
- 2階は大気、水、廃棄物のモニタリングや調査研究を行うエリア



本館

- ふくしまの子供たちが安心して輝く未来を創造するための「対話と共創の場」
- ふくしまの環境を知り、創り、発信する展示エリア、国際会議・学会・シンポジウム等を開催する会議室エリア及び管理エリアより構成
- シアターでの映像や企画展示は、国立科学博物館と連携・協力



交流棟

附属施設

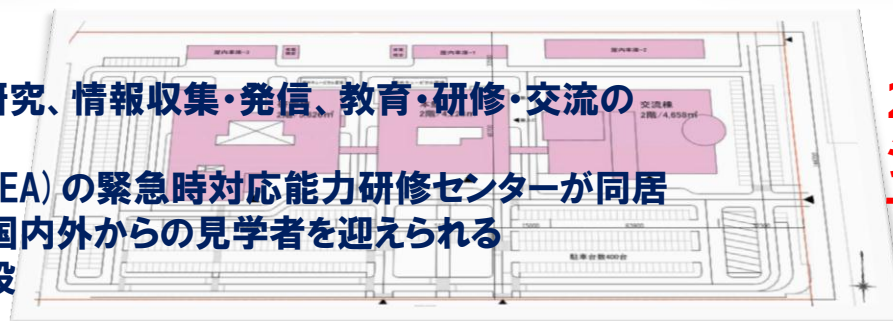


犬玉村



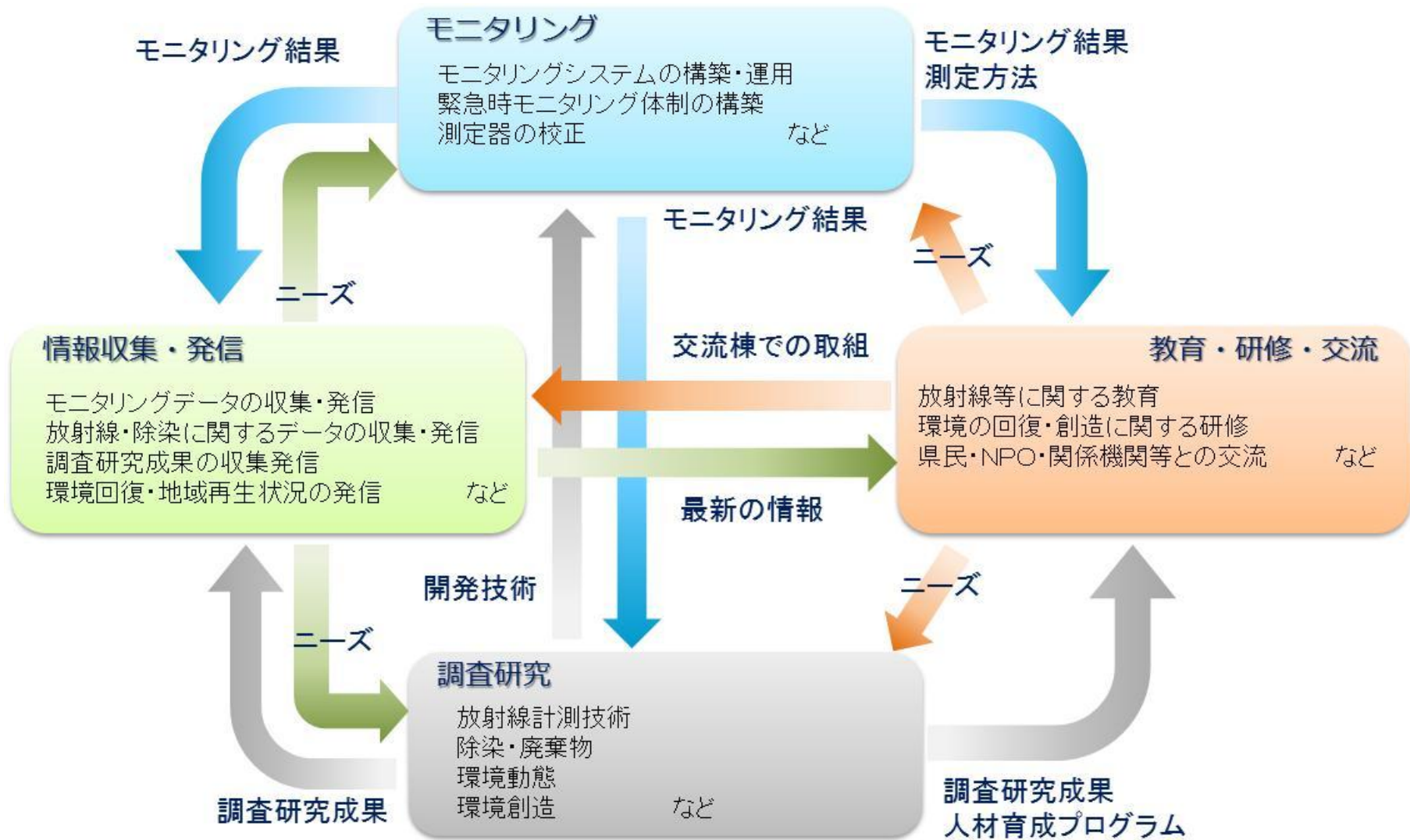
猪苗代町

- モニタリング、調査研究、情報収集・発信、教育・研修・交流の4つの機能を持つ
- 国際原子力機関 (IAEA) の緊急時対応能力研修センターが同居
- 子供たちはもとより国内外からの見学者を迎えられる県民に開かれた施設



200名規模の学会・講演会・シンポジウムなどが開催可能です。

環境創造センターの機能(主な取組)



環境創造センター業務開始

環境創造センター本館（三春町）及び出張所としての環境放射線センター（南相馬市）において業務が開始されました

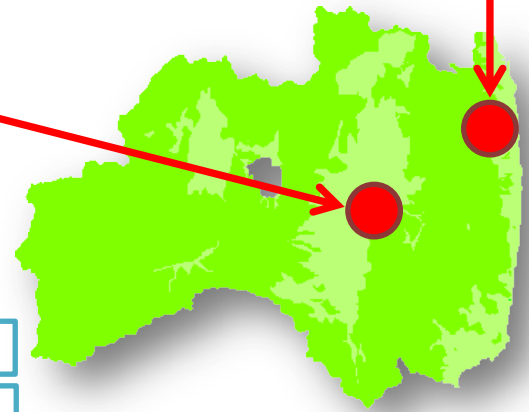
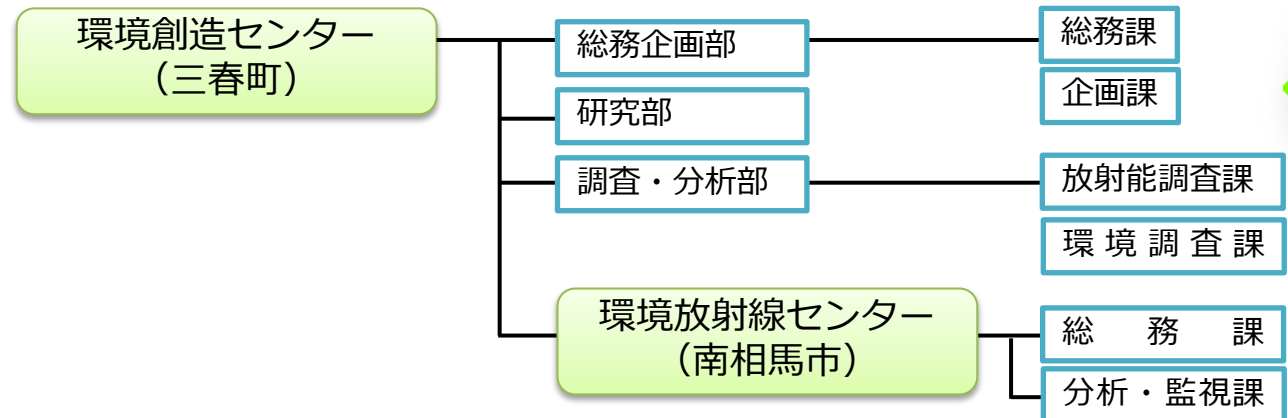


環境創造センター本館（三春町）



環境放射線センター（南相馬市）

組織体制



施設概要 — 交流棟における展示 —

■ 基本的な考え方

展示体験を通して県民の不安や疑問に答え、放射線や環境問題を身近な視点から**理解し、環境の回復と創造への意識を深める**ことを目指します。

学びや体験から得た知識や深めた意識を、子どもたち、県民や様々な団体が共有し、それぞれの立場から**福島**の未来を考え、**創り、発信**するきっかけとなる場を目指します。

■ 展示ゾーニング図

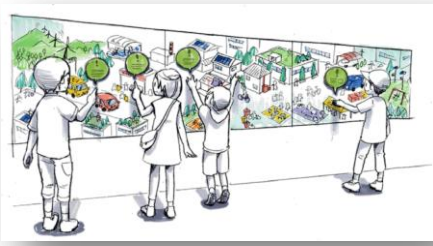


交流棟愛称

コミュタン福島

応募者 丸山 朋葉(伊達市)

ふくしま環境創造タウン



フロム3.11 ふくしまの歩みシアター



放射線測定マップ

